

## 新合格者&amp; U-35(若手世代)対象 研修会・ワークショップ

## 『働き方の選択～あなたはどんな働き方がしたいですか？～』

平成31年4月20日(土)、北海道教育大学アーツ&スポーツ文化複合施設 HUG において、青年技術士交流委員会主催の新合格者& U-35(若手世代)対象 研修会・ワークショップを開催いたしましたので、以下に開催概要をご報告いたします。

### 1. はじめに

近年、「働き方改革」が叫ばれ、ワークライフバランスが推進されるようになりました。社会人には、入社したばかりで成長したい時期、中堅どころとして会社の屋台骨を支える時期、結婚し子供が生まれ家族を大事にしたい時期、管理職になって会社を引っ張っていく時期など、いろいろな場面があり、それぞれの時期に応じて、多様な働き方が選べる社会が求められています。

そこで、今回の研修会・ワークショップでは、これからの社会を担っていく35歳以下の若手技術士・技術士補新合格者を対象として、クロスロードゲームを使って、様々な立場や働く場面で、あなたならどんな働き方をしたいか選び、議論することを目的に開催しました。

### 2. クロスロードゲーム

ワークショップでは、毎年好評を博している「クロスロードゲーム(阪神・淡路大震災をきっかけに防災教育のツールとして開発された教材)」を使ったグループワークを実施しました。

このゲームは、ある設問に対して各自が“Yes”か“No”のカードで自分の意見を示し、多数派の意見が勝者としてポイントを獲得できるものです。1ポイントを得るごとに座布団をもらうことができ、その数を競い合います。なお、少数意見も貴重とい

う観点から、その意見が1人のみだった場合には、その人は「金座布団(通常の座布団3枚分)」が貰えるという仕組みになっています。

### 3. 活発な意見交換となったワークショップ

研修会は、石造りの広々とした会場の雰囲気の中、和やかなムードでスタートしましたが、予め準備した7問の設問が進むにつれて会場はどんどん盛り上がりました。準備した設問は、新入社員の立場でのジレンマ、女性技術者の妊娠・出産に関わるジレンマ、管理職の立場でのジレンマなど、様々な立場に立った時に自分ならどう判断するかを問う設問とし、様々な年代や立場を超えて活発な議論が行われました。



写真-1 ファシリテーター役の密山技術士



写真-2 作成した設問を解説する平岡技術士

ワークショップでは、『ワークライフバランス』とは、仕事とプライベートを明確に区別し、調和を図り改善していきましょうという考え方です。一方で、仕事とプライベートを区別せず、ミックスしてしまうライフスタイルのことを『ワークライフブレンド』という言葉もあります。あなたの働き方はどちらがしっくりきますか?という問いや「あなたは女性技術者です。やりがいのある仕事も任せてもらい、部下もおり充実しています。その一方で、結婚5年目で、そろそろ子どもも欲しいという話を旦那としています。春になり、上司から大きなプロジェクトを任せたいという話がありました。やりがいのある非常に面白そうな仕事ですが、途中で妊娠するかもしれないことを考えると、中途半端な状態で仕事を引き受けて良いか悩みます。あなたはそのプロジェクトの責任者を引き受けますか?」といった悩ましい問いなどを用意し、テーブルごとに意見交換を行いました。各テーブルでは、「自分の年代や立場だったら、こう考える」、「設問の背景にはこんなことがあるはず」など、様々な意見が出されました。

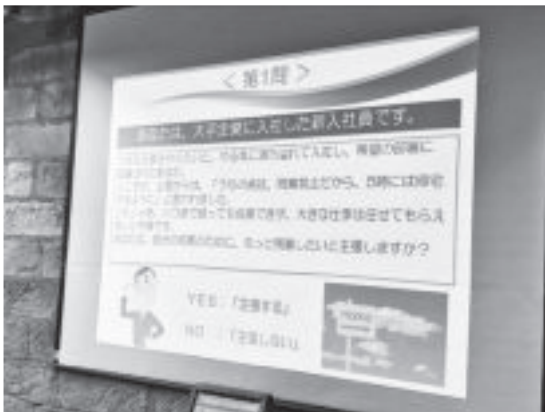


写真-3 クロスロードの設問例



写真-4 和気あいあいとした雰囲気でのWS

ワークショップの最後には、テーブルごとにオリジナル問題の作成を行うこととし、これまでの体験の中から「困った・迷った」を出し合い設問を作成し、全テーブルで発表を行い、最も良い(判断が悩ましい)設問へ投票を行いました。

ワークショップ終了後には意見交換会(懇親会)を行い、こちらも活発な交流が図られました。



写真-5 作成した設問を発表



写真-6 最も得点の高かった参加者を表彰

#### 4. おわりに

青年技術士交流委員会も、新年度の活動をスタートしました。新年度最初の活動でしたが、参加者25名と多くの方に参加して頂きました。技術者同士で働き方についての活発な意見交換を行うことで、ワークショップ、意見交換会ともに大いに盛り上がりました。

新年度から「楽しい青技交」をモットーに、交流による親睦をさらに深めつつ、講演会や見学会などの研修により資質の向上に努めていきたいと考えております。今後とも青年技術士交流委員会をよろしくお願いします。